Creative Enzymes®

エンドペプチダーゼ Clp

Cat. No. EXWM-4184

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	細菌由来の酵素で、2種類のサブユニット、ペプチダーゼ活性を持つClpPとATPアーゼ活性を持つClpAを含んでいます。ATP依存性エンドペプチダーゼ活性を示すClpAP複合体は、(ClpP14ClpA6)2の構成を持っています。ClpPはペプチダーゼファミリーS14の代表的な例です。
別名	エンドペプチダーゼ Ti; カゼイン分解プロテアーゼ; プロテアーゼ Ti; ATP依存性 Clp プロテアーゼ; エンドペプチダーゼ Ti; カゼイン分解プロテアーゼ; ClpP; Clp プロテアーゼ

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.21.92
CAS登□番号	110910-59-3
反□	ATPおよびMg2+の存在下でのタンパク質の小ペプチドへの加水分解。α-カゼインが通常のテスト基質です。ATPが存在しない場合、5残基未□のオリゴペプチドのみが加水分解されます（例えば、スキシニル-レウ-チロ┼NHMecやレウ-チロ-レウ┼チロ-トリプトファンでは、-チロ┼レウ-および-チロ┼トリプトファン結合の切断も発生します）。
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。お客□の仕□に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。